

平成28年度市町村教育委員会アクションプラン・計画等概要

市町村名	プラン・計画等	目標	行動計画	H28達成指標											
		<p>① 児童・生徒の課題の解決に向けた目標</p> <p>○小学校(算数)の思考力・表現力・判断力の向上</p> <p>○中学校(国語・数学・英語)の基礎的・基本的な知識・技能と思考力・判断力・表現力の向上</p> <p>○小学校・中学校の学びに向かう力の向上</p> <p>①教科の勉強が好き</p> <p>②教科の授業が分かる</p> <p>③話し合う活動で考えを深め広げる</p> <p>④わからないことをそのままにしておかない</p> <p>② 学校等が抱える組織的・構造的課題に関する目標</p> <p>○学校の組織をはたかせた全教員・全教科の授業改善に取り組む校内研究体制の確立</p> <p>○学校の組織をはたかせた短期(年間2~3回)のPOCAサイクルによる検証・改善の確実な実践</p> <p>○つけた力を明確にした「新大分スタンダード」に基づく授業改善の徹底</p>	<p>① 授業改善に関する行動計画</p> <p>ア 学校全体で取り組む授業改善に向けて</p> <p>(授業観察)「新大分スタンダード」に基づく各学校の授業観察シートを活用し、管理職は全教員の授業観察を行い、月1回以上指導・助言を行う。学期1回以上の互見授業週間を設定し、「新大分スタンダード」に基づく各学校の授業観察シートを活用し、全教員が11月までに2回以上授業を参観する。</p> <p>(授業改善)「新大分スタンダード」に基づき、つけた力を明確にし、基礎的・基本的な知識・技能と思考力・表現力・判断力を育成する授業改善を全教員が日常の授業実践で取り組む。</p> <p>(教育研究)「③取組内容」を協議の柱にした校内研究提案授業を行い、事後研究会で成果と課題を協議し、「③取組内容」による授業実践を推進する。学力向上支援教員・習熟度別指導推進教員の公開授業を年間3回設定し、市内小中学校(校内研修)・全国学力・学習状況調査の8問題を解いて、自校の結果の課題の分析から改善策を・市教委は教務主任・研究主任会議や学校訪問で、「授業改善の5点セット」「授業改善計画」を踏まえた校内研究の取組内容と進捗状況について指導・助言を行う。</p> <p>(検証・改善)「授業改善5点セット」と「授業改善計画」を年度当初に作成し、重点目標達成のための【①授業改善テーマ】を設定し、【⑤検証指標】で短期(年間2~3回)の検証・改善を行う。</p> <p>(その他)小中学校において、教科専科制や学級担任の相互兼任による専科制等により、教科担任制による授業実践を推進する。学力向上支援教員・習熟度別指導推進教員の公開授業を年間3回設定し、市内小中学校の全教員が参観し、自校でのつなげる</p> <p>イ 習熟の程度に応じた指導の充実に向けて(補充指導の充実を含む)</p> <p>・中学校数学・英語の習熟度別指導推進教員による習熟度別指導の効果的な進め方の工夫・改善を域内の学校に普及させる。(推進教員は習熟度別指導を実施学年総時数の40%達成に取り組む)</p> <p>・中学校確認テスト(数学・英語)を実施し、朝学習・清掃後の時間・放課後の時間を活用した補充学習や個別学習の工夫・改善を行う。併せて、「市内4中学校の学力向上の取組」を普及させる。</p> <p>ウ 司書教諭等を核とした学校図書館を活用した指導体制の確立に向けて</p> <p>・学校司書や担任(教科担任)が連携し、環境整備と授業改善を計画的に推進する。「学校図書館を活用した授業実践推進事業」推進校が、学力向上をめざした授業での活用の方を公開し、域内の学校に普及させる。</p> <p>エ 市町村の教科部会を活用した授業改善に向けて(特に中学校)</p> <p>・市の中学校教科部会(国語・数学・理科・英語)で、大分県学力定着状況調査、全国学力・学習状況調査の結果の課題解決につながる取組を年間4回の教育課程等研究協議会で推進する。</p> <p>・中学校確認テスト(数学・英語)の問題作成を市の教科部会で行い、補充指導を徹底する。</p> <p>② 学びに向かう学校づくりに関する行動計画(幼保小の連携・小中連携を含む)</p> <p>・学びに向かう学校づくり中核校が、指導教諭を中心に、組織的な授業改善と特別活動の充実による学びに向かう学習集団作りを推進し、授業を公開して域内の学校に広げる。</p> <p>・教育課程等研究協議会において、小中合同授業研究会を開催し、小中連携の視点での授業改善を推進する。</p> <p>・同一学区域内の小中学校の組み合わせによる小中交流A・Bを行い、同一集団の力と意欲を高める目的で小中連携の視点で授業改善を推進する。</p> <p>③ 保護者・地域と連携した学力向上の取組に関する行動計画</p> <p>ア 放課後や土曜日の教育環境の充実</p> <p>・小学校6校7教室で、公民館活動を中心に年間20日程度、多様な学習や体験活動を行う土曜教室を行う。</p> <p>・小学校6校7教室で、公民館活動や育友会活動、子供会活動を中心に、主に平日に、年間60日程度補充学習等を目的としたチャレンジ教室を行う。</p> <p>イ 学校・家庭・地域の協働の取組</p> <p>・学校と協働した家庭・地域の「重点取組」「取組指標」を設定し、協働して実践し、学力向上会議で成果と課題を検証・改善を行う取組を全てで学校で推進する。</p> <p>・コミュニティスクールのモデル校を5校指定し、研究を進めていく中で、学校と家庭・地域との協働を推進する。</p> <p>④ その他</p> <p>・漢字検定(小学校)と英語検定(中学校)を全小中学校で実施し、チャレンジ精神の高揚と学習意欲の向上とともに、基礎学力の定着を図る。</p>	<p>○大分県学力定着状況調査、全国学力・学習状況調査の平均正答率(県比・全国比)</p> <p>小5算103.0 小6国A108.0 小6算A104.0 小6国A102.0 中3数A102.0 中2英語偏差値51.0</p> <p>○大分県学力定着状況調査、全国学力・学習状況調査の平均正答率(県比・全国比)</p> <p>小6国B102.0 小6算B103.0 中3国B102.0 中3数B102.0</p> <p>○全国学力・学習状況調査(質問紙・肯定的回答の割合)</p> <p>①教科の勉強が好き(国語、算数・数学)</p> <p>小6国・算 65.0 中3国・70.0 ②教科の授業が分かる(国語、算数・数学)</p> <p>小6国・算 83.0 中3国・70.0 ③話し合う活動で自分の考えを深め広げる</p> <p>小6 70.0 中3 65.0 ④授業で分からないことそのままにしておかない</p> <p>小6 95.0 中3 90.0</p>											
日田市	体力向上アクションプラン	<p>ア 児童・生徒の課題を</p> <p>○総合評価C以上の児童・生徒の割合を高める。</p> <p>○運動の日常化・習慣化を図る。</p> <p>○運動が好きな児童・生徒の割合を高める。</p> <p>イ 体力向上に関して抱える組織的課題</p> <p>○「一校一実践」の取り組みを改善・充実させる。</p>	<p>イ 体力向上に関して抱える組織的課題を解決するための市町村教育委員会や学校の行動</p> <p>①教育委員会</p> <p>○体育専科教員の活用方法の工夫</p> <p>・体育専科教員2名体制を維持し、実践事例や指導法の充実を全市的に広げる。</p> <p>・研究指定校(体育専科教員活用校・体力向上推進校)の実践例や研究成果を周知し、日田市シシリアオンラインシステム上に提示</p> <p>・研究指定校(体育専科教員活用校・体力向上推進校)の公開授業の実施</p> <p>○各学校の「一校一実践」優良実践事例の活用</p> <p>・校長会や体力向上会議、体育部会において周知</p> <p>・体育主任会議において、各学校の「一校一実践」の共有化を図り、各学校の取組への活用を促進</p> <p>○生活習慣の改善と食育の充実</p> <p>・各学校への栄養教諭の活用依頼と派遣(日調整室)</p> <p>②各学校</p> <p>○校長の役割の強化</p> <p>・校内におけるミドルリーダー的存在をもって充て、組織的に取り組む体制づくりと校内研修の充実</p> <p>○「一校一実践」の組織的な取組み</p> <p>・管理職との、教務主任や体育主任、部活動主任が中心となり、体力向上推進委員会を組織し、体力向上プラン(一校一実践)を作成</p>	<p>○総合評価C以上の児童・生徒の割合</p> <p>低学年 中学年 高学年</p> <p>男子 80% 80% 80%</p> <p>女子 80% 81% 84%</p> <p>中1 中2 中3</p> <p>男子 70% 85% 90%</p> <p>女子 92% 92% 90%</p> <p>○ほとんど毎日(週3日以上)運動している児童・生徒の割合</p> <p>※学校の体育の授業を除く</p> <p>小学校(男子60%・女子35%) 中学校(男子90%・女子80%)</p> <p>○運動することが好きな児童・生徒の割合</p> <p>小学校(男子75%・女子55%) 中学校(男子75%・女子50%)</p>											
	不登校対策アクションプラン	<p>目標</p> <p>(不登校生徒数・出現率)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>在籍生徒数</th> <th>不登校数</th> <th>出現率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全市中学校</td> <td>1894</td> <td>40</td> <td>2.11%</td> </tr> <tr> <td>全市小学校</td> <td>3654</td> <td>11</td> <td>0.30%</td> </tr> </tbody> </table>		在籍生徒数	不登校数	出現率	全市中学校	1894	40	2.11%	全市小学校	3654	11	0.30%	<p>取組及び地域不登校防止推進教員の活用計画</p> <p>○取組</p> <p><計画・組織> ○「不登校」未然防止・児童生徒支援アクションプラン平成28年度版の作成・推進 ・「不登校」に関する支援 小中引継ぎ(年間・小中間)シートの取組の徹底 ・各学校の「不登校対策計画」「校内不登校対応マニュアル」の作成 ・不登校対策担当者等の研修の充実</p> <p><未然防止> ○未然防止の視点からの不登校対策の推進 ・わかる授業、絆づくり、居場所づくり、学校行事、相談体制の推進 ○小中連携した行事等の効果的な支援策の展開</p> <p><初期対応> ○初期体制の充実 ・「欠席初期対応123」校内不登校対応マニュアルの徹底 ・新たな不登校者(新規増加者)、保護者への適切な支援</p> <p><学校復帰支援> ○スクールカウンセラーを活用した校内支援体制の充実 ○心の相談員(市)を活用した校内支援体制の充実 ○適応指導教室と子ども未来室(市)、児童相談所等との連携</p> <p>○地域不登校防止推進教員の活用計画(拠点校)</p> <p><計画・組織> ◇拠点校版「不登校」未然防止・児童生徒支援アクションプランの作成 ・生徒実態を踏まえた新たな不登校生対策と定期的な面直しに配慮 ◇校内不登校対策委員会の活性化 ・管理職と学年主任、関係職員との構成、取組、協働方法の助言</p> <p><未然防止> ○「絆」、「居場所づくり」を意識した学級づくり、特別活動の実践指導 ・特活担当等と連携した学期ごとの集団づくり・絆づくりの提案 ・「○○○○三限！」キャンペーン活動展開(不登校未然防止につなげて) ◇生徒指導の3機能を意識した「分かる授業」の展開</p> <p>・指導教諭と連携し「新大分スタンダード」に基づく、魅力ある授業を指導・支援 (1.1時間完結型 2.板書とノート一体化 3.習熟度に応じたきめ細かい指導 4.問題解決的な展開の授業) ・生徒指導の3機能を意識して自己決定の場・自己存在感を与える場・共感</p> <p>的人間関係を育む場)</p> <p>○校区内小中学校との効果的な連携支援の推進 ・小学校と連携した中1ギャップ解消にむけた取組 ・「絆」作りの場の構築</p> <p><初期対応> ○不登校防止の初期対応の徹底 ・小中引継ぎシートによる不登校傾向にある生徒への組織的な支援の徹底 ・心の相談員と連携した家庭訪問等の支援</p> <p><学校復帰支援> ◇生徒の実態に応じた学校復帰の組織的な支援 ・保護者との良好な関係づくりのための支援 ・学級・学校復帰のためのケース会議(適応指導教室等との連携)</p> <p>(教育委員会)</p> <p><計画・組織> ◇市町村及び各学校の「不登校対策計画」作成の推進 ・日田市版「不登校」未然防止・児童生徒支援アクションプラン作成・推進 ・各学校の「不登校対策計画」の作成支援</p> <p>○市町村及び各学校の不登校対策委員会の活性化の推進 ・不登校対策担当者会議・校内不登校対策委員会等の効果的な取組の推進</p> <p><未然防止> ◇「絆」と「居場所」を意識した「魅力ある学校づくり」のサポート ・学校訪問での「絆づくり」居場所づくり取組への指導・支援</p> <p>○研修会での講師、助言者としての活用 ・不登校対策担当者等でのエンカウンター等の講師、助言者 ・拠点校での中1ギャップ解消等の取組を発表する等の啓発活動</p> <p>・校内不登校対策委員会での指導助言 ○中学校と小学校の連携推進 ・「小中引継ぎシート」取組の徹底と委員会提出・分析 ・不登校児童が進学する中学校への3月末の訪問指導</p> <p><初期対応> ○市町村初期欠席対応システム構築の推進 ・欠席3日目即報告・校内支援シート3日シートの把握 ・各学校の欠席データの集計分析 ○「あつたハート1-2-3」の取組推進 ・日田市統一「不登校早期発見・対応のルール」の取組の徹底</p> <p><学校復帰支援> ○教育支援センターや関係機関、SC等との効果的な連携の推進 ・推進教員の適応指導教室フットリナー型の支援 ・地域人材ボランティア等を活用した居場所づくりの支援 ・推進教員とスクールカウンセラーの連携、センター・適応指導教室との連携 ・学校とセ</p>
	在籍生徒数	不登校数	出現率												
全市中学校	1894	40	2.11%												
全市小学校	3654	11	0.30%												

平成28年度市町村教育委員会アクションプラン・計画等概要

(日田教育事務所)

No. 2

市町村名	プラン・計画等	行動計画	
			H28達成指標
日田市	組織力向上計画	<p>ア 学校評価の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校長会、教頭会、教務主任会、学校訪問等により、以下のことについて特に徹底を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・「誰が」「何を」「どれくらい」の頻度で」という具体的検証が可能な取組指標を設定すること。 ・具体的な検証と年度の中でも取組指標、重点的取組、達成指標を改善していくこと。 ・学校の重点目標や各分掌等の目標を、教職員の自己目標と連動させること。 <p>イ 学校運営体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校長会、教頭会、教務主任会、学校訪問等により、以下のことについて特に徹底を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・重点目標の達成に責任を担う主任等がそれぞれの分掌の教職員に積極的に指導助言を行うこと。 ・職員会議によらない周知徹底の工夫を行うこと。 ・主任制度の趣旨の徹底を図り、主任手当ての拠出0を継続すること。 <p>ウ 学校・家庭・地域の協働の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校・家庭・地域の協働の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・目標協働達成校の取組を他の学校に広げ、各学校での協働4点セットの作成を推進する。 ・学力向上会議において、家庭や地域と協働した学力向上対策について指導を行う。 ・コミュニティスクールの設置に向けて、5校をモデル校として指定し取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「8つの観点目標評価」において、すべての項目において肯定的評価をした学校100% ○学校評価に基づく改善策に関する <ul style="list-style-type: none"> 家庭・地域との協議の実施率 <ul style="list-style-type: none"> 小学校 50 % 中学校 40 %
	主幹教諭の活用計画	活用内容	
		<ul style="list-style-type: none"> ○組織力向上に向けた指導・助言(市全体) <ul style="list-style-type: none"> ・主幹教諭及び教務・研究主任合同会議において、実践を報告するとともに、組織的な取組についての指導・助言を行う。 ・市総則部会において、各学校教務主任の先導的役割を果たす。 ○学校の教育目標達成に向けた組織的取組 <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会の内容について、教頭と内容を協議し、校長の承認後に提案する。レジュメの準備とチーム長への連絡を行う。 ・運営委員会を効率的に行うため、スケジュールを見越して担当者へ提案文書を指示し、議題を精選して会議を運営する。 ・主幹教諭として、学校の重点目標や分掌目標が、個人目標と連動するよう、目標設定時の指導助言や授業観察および必要に応じた指導助言をしていく。 ・チーム制を推進する。 <ol style="list-style-type: none"> ①各チームの年間活動方針作成指示(学校重点目標との連動を留意) ②各チームとの取組確認・調整 ③取組のPDCAサイクルの構築・特に②(検証)段階での指導を行う。 	